

一般財団法人 Ruby アソシエーション
2015年度 第1回定時評議員会 議事録

- 1 開催場所：ハートンホテル東品川 2F スイートピー3 東京都品川区東品川4-13-27
- 2 開催日時：2015年6月23日(火) 14:00～16:00
- 3 評議員総数及び定足数：現在総数13名、定足数7名
- 4 出席評議員数：9名
(本人出席) 石川明、及川喜之、大場寧子、後藤裕蔵、
立久井正和、中島宏、羽田昭裕、森正弥、吉田正敏
(欠席) 出田健二、最首英裕、平松知江子、吉岡宏
- 5 出席理事：松本行弘、井上浩、笹田耕一、橋本明彦、山根泉
- 6 事務局：前田修吾、横田早百合、徳永翔二、江角俊秀
- 7 オブザーバー出席：高橋征義、藤原亮彦、森脇直則、杉原健司、福田一斎

以上のとおり評議員の出席があり本評議員会は適法に成立したので、出席評議員から石川明が議長として選出され開会を宣し、出席評議員から後藤裕蔵、立久井正和が議事録署名人として選出された。先ず、冒頭で松本理事長から挨拶があり、続いて下記議案の審議に入った。

8 内容

■松本理事長挨拶

- ・前回までの評議員会で評議員の方々からご意見を頂戴し、その中から実現に向かっているものもある。
- ・今後も皆さんのお知恵をお借りし、コミュニティや協賛企業に喜んでいただける活動をしていければと思う。

■第1号議案：2014年度決算案について

議長は、第1号議案について事務局に説明を求めた。横田事務局員が、先の評議員会で報告した2014年度事業報告書(案)から変更点がないことを別添資料1によって説明し、次いで別添資料2の下記の書類に基づき説明を行った。

(1) 貸借対照表 (2) 正味財産増減計算書 (3) 財産目録 (4) 財務諸表に対する注記

また、今岡監事による監査報告により、上記の書類につき綿密に監査した結果、いずれも正確かつ適切であることが認められた旨を報告した。

最後に、議長が上記につき可否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認可決した。

■第2号議案：理事及び監事の選任について

議長は、第2号議案について事務局に説明を求めた。横田事務局員が、理事6名(松本行弘、井上浩、笹田耕一、橋本明彦、田中和明及び山根泉)が本定時評議員会の終結の時をもって任期満了することから、後任の理事を選任する必要がある旨を述べ、候補者ごとに議決に付したところ全員異議なく下記の者を選任可決した。

理事 松本行弘、井上浩、笹田耕一、橋本明彦、田中和明、山根泉

■第3号議案：評議員選定委員会の委員の選定について

議長は、第3号議案について事務局に説明を求めた。横田事務局員が、選定委員会の委員となる評議員(立久井正和)が本定時評議員会の終結の時をもって任期満了することから、後任の委員を選任する必要がある旨を述べ、候補者を議決に付したところ全員異議なく下記の者を選任可決した。

評議員選定委員 立久井正和

■報告、協議事項1 Ruby 求人情報の提供について

議長が事務局に説明を求め、徳永事務局員がRuby 求人情報の提供について以下の説明を行った。

- ・Ruby人材を募集したい企業から求人情報を集め、Rubyで仕事をしたい求職者に情報を提供する。
- ・Rubyアソシエーションのサイトで求人情報を募集し、その情報をサイトに求職者に提供する。
- ・職業紹介事業者としての登録はしないので、求職者には直接求人企業にコンタクトを取ってもらう。
- ・反響をみて、今後の取り組み方を検討する。

議場からは、掲載する求人情報の鮮度を保つためのご意見がいくつかあった。

■報告、協議事項2 Ruby技術者認定試験推移報告

議長が事務局に説明を求め、徳永事務局員がRuby技術者認定試験事業の状況について報告を行った。
議場からは、海外の受験者数を増やすための情報提供についてご意見があった。

■その他 Ruby Prizeについての説明

議長が説明を求め、オブザーバーの森脇直則(まつえ産業支援センター)から、今年度のRuby Prizeについて説明が行われた。
議場より特段の意見、質問はなかった。

■その他 Ruby biz グランプリについての説明

議長が説明を求め、オブザーバーの杉原健司(島根県情報産業振興室)からRuby biz グランプリの企画案についての説明が行われた。
議場からは、募集要件や既存の表彰との差別化についてご意見があった。

■その他 日本Rubyの会より

議長が説明を求め、オブザーバーの高橋征義(日本Rubyの会)からRubyKaigi 2015について説明が行われ、今後のRubyアソシエーションとの連携について意見交換が行われた。

■意見交換

石川評議員：Rubyアソシエーションのサイトの技術者向け情報を充実させられると良いと思う。

大場評議員：Rubyをこれから使おうと思っている人やRubyのバージョンアップを検討している人に向けた情報を、協賛企業などからアンケートを取って公開できれば良いと思う。

橋本理事：誰もが見られるOSS関連のレポートの新しいものがないので、アンケートを取るような試みは良いと思う。

中島評議員：Rubyアソシエーションのサイトのページ別の訪問者数の推移が知りたい。

以上のような意見に紐付いて、各評議員、監事、事務局、及びオブザーバー間で活発な意見交換が行われた。

上記の議決を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

2015年6月23日

一般財団法人Rubyアソシエーション評議員会



議長

石川 明



議事録署名人

後藤 裕蔵



議事録署名人

立久井 正和



2014 年度（第 4 事業年度）

「事業報告書」

一般財団法人 Ruby アソシエーション

1 事業の概要

2014年度の当財団の活動は、Ruby 技術者認定試験の改定や Ruby Business Users Conference 2015 の実施、またアメリカの Ruby Central からの Ruby 安定版保守業務に対するの支援を受けるなど、既存の事業に対する充実化と長年の目標であった海外 Ruby 組織と協力した事業を展開するなどの新たな試みを実施致しました。

本書では当財団の 2014 年度の実施状況について報告します。

2 体制及びその変更

1) 評議員

2014 年度評議員

- ・石川 明 (株)日立ソリューションズ
- ・出田 健二 (株)まちづくり三鷹
- ・及川 喜之 (株)セールスフォース・ドットコム
- ・大場 寧子 (株)万葉
- ・後藤 裕蔵 (株)ネットワーク応用通信研究所
- ・最首 英裕 (株)グルーヴノーツ
- ・立久井 正和 (株)インターネットイニシアティブ
- ・中島 宏 (株)DTS
- ・羽田 昭裕 日本ユニシス(株)
- ・平松 知江子 (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
- ・森 正弥 楽天(株)
- ・吉岡 宏 (株)テクノプロジェクト
- ・吉田 正敏 富士通(株)

2) 理事

- ・代表理事 理事長 松本 行弘
- ・副理事長 井上 浩
- ・理事 山根 泉
橋本 明彦
田中 和明
笹田 耕一

3) 監事、顧問及び事務局

- ・監事 今岡 正一（公認会計士）
- ・顧問 松浦 正敬 松江市長、溝口 善兵衛 島根県知事
- ・事務局 前田修吾（事務局長）が事務局業務全般を統括し、常勤スタッフ 2 名の他、松江市、島根県による人的支援によって運営しました。その他、事例収集のため外部のライターと、規格文書の保守および改訂の作業のため外部の専門家と契約を行っています。

4) 評議員選定委員会

- ・委員長 立久井 正和 (評議員)
- ・委員 今岡 正一 (監事)、横田 早百合 (事務局員)、
田代 秀一 (外部委員)、高橋 征義 (外部委員)

3 実施事業

1) 公募型開発支援プロジェクト

Ruby 及び周辺環境の改善を目的に Ruby 処理系、ライブラリ及びフレームワークに関連する開発プロジェクト (既存のソフトウェアを改良するプロジェクトを含む) を公募し、グラント委員会で選考の結果、以下 3 件のプロジェクトを採択しました。

いずれも 2015 年 3 月 31 日までに開発を終え、その成果を公開します。

- ・応募件数: 9 件 (国内 7 件)
- ・採択件数: 3 件

①採択者: 井出 真広	プロジェクト: RuJIT: a trace-based Just In Time compiler for CRuby
RuJIT プロジェクトは, CRuby 処理系向け Just In Time コンパイラ RuJIT の構築を目指す。このプロジェクトの目標は, JIT コンパイラによる Ruby スクリプト実行の高速化にある。RuJIT では, 既存のコンパイラ最適化手法に加え, Ruby 言語に特化した最適化, 高速化の工夫を行い, 処理性能の大幅な向上を行う。加えて, CRuby 処理系への採用を目指し, 品質・互換性の向上を行う。	
②採択者: 西田 直樹	プロジェクト: DataFrameの開発による科学用途のgem開発の促進
MikonはRubyでデータ解析・可視化を簡単に行えるようにするプロジェクトです。このプロジェクトではデータ可視化用gemのNyaplot,統計処理用gemのStatsampleと連携し、データの読み込みと操作,解析,可視化をRubyで統一して行えるようにすることを目標とします。また、Web上のRuby実行環境であるIRuby上で解析・可視化を一度に行うGUIの実装を実験的に実装します。	
③採択者: Deivid Rodriguez	プロジェクト: Threading Support for Byebug
Thread debugging support in Byebug. The feature will allow users to debug multithreaded programs: thread switching, pausing and resuming specific threads, list active threads and so on.	

2) Ruby安定版保守事業

ユーザが安心して Ruby を利用できる環境を構築するため、Ruby 安定版の保守事業を実施しています。事業仕様策定後に業務を外部機関に委託することとし、委託先の選定に際し公募を行った結果、中村宇作様を委託先に決定しました。委託期間は 2015 年 3 月 31 日までです。また 2014 年度は、アメリカの非営利組織である Ruby Central より本事業に対して助成金の交付を受けました。

3) Rubyに関する情報発信事業

(1) Webでの情報発信

協賛会員をはじめ、Ruby をビジネス利用する企業に利用事例作成編集の担当スタッフが当該企業担当者に直接面談し、概要情報と詳細情報の作成を行いました。これらの情報は、利用時の背景事情、適用されたビジネス・システム分野やその特性など、利用企業のみならずエンドユーザ(企業や個人の場合あり)の損益にも深く関わる場合があることから、公開前に利用企業等による内容確認を実施し(その際にエンドユーザに了解を得ることもあった)、関係者合意の上で財団ホームページに掲載しました。2014年度は新たに4件の利用事例を紹介しました。

2014年度 新規掲載企業	テーマ
株式会社インターネットイニシアティブ	Ruby on Rails で手軽に開発・運用コストを最小化できる純国産 PaaS「MOGOK」、セキュリティも万全
freee 株式会社	継続的デリバリで常に進化する会計ソフト 会計 freee
株式会社日立ソリューションズ	300画面の大規模 Web システム「建設業情報管理システム」を Ruby で構築、開発規模を 1/5 に削減
株式会社日立ソリューションズ	020ソリューションの開発に Ruby を採用することで、短期間、低コストを実現した『ReBee』

また、投稿者自身によって Ruby 事例が紹介できる「投稿版」の事例紹介の成果を公開致しました。(2015年3月3日現在 20件)

(2) RubyWorld Conference 2014 の開催

2014年11月13日(木)、14日(金)、島根県立産業交流会館「くにびきメッセ」(島根県松江市)にて、6回目となる「RubyWorld Conference 2014」を開催しました。主催は、RubyWorld Conference 開催実行委員会(構成機関: Ruby アソシエーション、島根県、松江市、島根大学、松江高専、ジェトロ松江、しまね産業振興財団、島根県情報産業協会、しまね OSS 協議会、経済産業省中国経済産業局)、その他、多くの機関の後援、協賛をいただき実施しました。今回の国際会議では、Ruby に関するビジネス利用事例や、最新技術の情報、開発者教育の状況などを紹介する様々なセッションを通じて、Ruby がより多くの領域に普及していくことを目指し、国内外 20 名が講演し、来場者数は 2 日間で延べ 876 名(詳しくは下記を参照)を数えました。オープニング・セレモニーで、まつもと実行委員長、溝口善兵衛島根県知事、吉山治松江市副市長の挨拶に続き、経済産業省 商務情報政策局 野口聡 情報処理振興課長に、来賓ご挨拶をいただきました。

引き続き基調講演では、Ruby の開発者まつもと委員長が「Ruby が教えてくれたこと」と題し講演。また、2日目の基調講演では、米大統領イノベーションフェロー/Mightyverse CTO、Sarah Allen 氏が「Ruby in the US Government」と題して、米大統領イノベーションフェロー・Mightyverse CTO として両分野での仕事のご紹介と、その開発プロセスにおける相違点や共通のテーマについてご講演い

ただきました。

初日の午後は、新たに Ruby コミュニティに貢献した方の活動を表彰す「Ruby コミュニティの新人賞」として、昨年よりスタートした Ruby Prize 受賞者の発表と表彰が行われました。その他、国内外の Ruby の技術者、企業関係者が講演し Ruby の更なる普及・発展に向けて活発に議論がなされました。なお、クロージング・セレモニーでは、井上浩 実行委員会副委員長が、2 日間の議論を振り返るとともに、来年の Conference の開催意向を表明し、閉幕しました。

- 来場者について 2 日間延べ 876 名(11 月 13 日 495 名、11 月 14 日 381 名)
来場実数 658 名 (県内 216 名、県外 433 名、海外 9 名)
 - ・ IT 企業関係者 447 名 (県内 108 名、県外 334 名、海外 5 名)
 - ・ その他企業関係者 35 名 (県内 17 名、県外 16 名、海外 2 名)
 - ・ 行政関係者 17 名 (県内 0 名、県外 17 名)
 - ・ 研究教育機関関係者 113 名 (県内 104 名、県外 9 名)
 - ・ 一般 (所属なし) 26 名 (県内 8 名、県外 18 名)
 - ・ 講演者 20 名 (県内 7 名、県外 11 名、海外 2 名) ※Ruby Prize 含む
- 講演者について
 - ・ 国内 18 名 (企業関係者 16 名、教育機関関係者 1 名、)
 - ・ 海外 2 名 (アメリカ 2 名 うち企業関係者 1 名)

(3) Ruby ビジネスセミナー

当財団の単独主催、又は関係機関との共催、協力を得てビジネスセミナーを開催致しました。これらのセミナーでは、Ruby の利用状況と今後のビジネストレンドをはじめ、開発現場で必要とされる技術情報など、開催地の状況に応じた話題提供をすることで参加者のニーズに合わせたセミナー機会を提供しました。また、セミナー後の質疑応答やセミナー後の意見交換の場など、Web 上だけではない「リアルなビジネス交流」の機会を提供しました。

各セミナーでは参加者にアンケートを実施し、情報発信事業に対する評価と当財団への要望も意見集約し、今後の事業内容の検討にも活用しています。

開催時期、会場	開催テーマ	来場者数 (名)
2014 年 6 月、東京	PaaS ビジネスへの活用集	約 60 名
2014 年 10 月、東京	エンジニア教育	約 80 名
2015 年 1 月、大阪	Ruby コミュニティ、イノベーション	約 90 名
2015 年 2 月、東京	Ruby Business Users conference 2015	約 120 名
2015 年 3 月、松江	Matz に何でも聞いてみて	約 15 名

4) Ruby技術者認定試験事業

2014年10月1日より旧試験を改定し、Ruby Association Certified Ruby Programmer version 2.1の配信を開始致しました。

認定者は、Ruby技術者としての技術力を公正に評価され、高い水準のRubyによるシステム開発能力を持つことを認定されます。認定によりRubyベースでシステム開発を行ううえで必要な基礎的な知識と応用力をもつことをアピールすることができます。

試験の合格者は、当財団が「Ruby Association Certified Ruby Programmer」として認定します。現在は、国内(試験区分：Silver、Gold)、海外(試験区分：Silver)で実施しており、2012年10月より当財団が直営実施(CBT受験環境、オペレーションはプロメトリック社に委託)しており、安心して受験いただける環境を提供しています。

5) 事業者認定事業

従来から実施している認定システムインテグレーションプログラム(Rubyの高い技術力を持った企業を認定)に加えて、2012年10月から認定教育機関プログラム(Rubyの教育をおこなう高い技術を持った企業を認定)、認定サポート事業者プログラム(Rubyのサポートサービスを提供する高い技術を持った企業を認定)、及び認定クラウドサービス事業者プログラム(Rubyアプリケーションの運用に適したクラウドサービス(IaaS、PaaS)をおこなう高い技術を持った企業を認定)の各プログラムを実施しています。2014年12月31日時点での認定企業数は以下のとおりです。

認定種別	Gold	Silver
認定システムインテグレーションプログラム	21(18)	67(58)
認定教育機関プログラム	3(3)	1(0)
認定サポート事業者プログラム	2(2)	—
認定クラウドサービス事業者プログラム	3(3)	1(1)

※()内は前年度数

6) 協賛会員事業

- ・会員資格

法人、任意団体及び個人

- ・会員種別、会費

年会費 1口 10万円(4月を開始月とします)

①Platinum Sponsor 5口以上(50万円以上)

②Gold Sponsor 2口以上(20万円以上)

③Silver Sponsor 1口以上(10万円以上)

2014年12月31日時点での協賛会員数は、以下のとおりです。

Platinum : 年間5口以上	Gold : 年間2口以上	Silver : 年間1口以上
11(12)	21(19)	45(41)

※()内は前年度数

決 算 報 告 書

(第 4 期)

自 2014年 4月 1日
至 2015年 3月31日

一般財団法人Rubyアソシエーション

貸借対照表

2015年 3月31日現在

(2014年度 第4期)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	34,213,308	25,405,710	8,807,598
未収金	1,050,021	5,856,809	△ 4,806,788
前払費用	9,300	9,300	0
流動資産合計	35,272,629	31,271,819	4,000,810
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
固定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	38,272,629	34,271,819	4,000,810
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,839,850	2,495,522	344,328
未払消費税等	667,800	0	667,800
預り金	49,863	36,110	13,753
流動負債合計	3,557,513	2,531,632	1,025,881
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,557,513	2,531,632	1,025,881
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	31,715,116	28,740,187	2,974,929
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	34,715,116	31,740,187	2,974,929
負債及び正味財産合計	38,272,629	34,271,819	4,000,810

正味財産増減計算書

2014年 4月 1日から2015年 3月31日まで
(2014年度 第4期)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	599	599	0
事業収益	18,032,917	26,002,887	△ 7,969,970
受取協賛金	14,200,000	13,900,000	300,000
受取補助金	1,379,700	0	1,379,700
受取寄付金	192,819	4,584,189	△ 4,391,370
受取利息	5,692	3,545	2,147
経常収益計	33,811,727	44,491,220	△ 10,679,493
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	3,531,661	2,859,454	672,207
法定福利費	629,859	439,933	189,926
旅費交通費	587,838	297,390	290,448
通信運搬費	64,305	198,011	△ 133,706
消耗品費	308,048	277,620	30,428
水道光熱費	28,178	22,658	5,520
支払手数料	7,294,268	6,789,772	504,496
賃借料	916,696	703,396	213,300
租税公課	674,000	2,400	671,600
支払負担金	1,282,869	710,013	572,856
支払助成金	1,496,721	1,507,526	△ 10,805
委託費	5,986,059	5,416,474	569,585
雑費	59,571	0	59,571
管理費			
役員報酬	600,000	900,000	△ 300,000
給与手当	3,531,661	2,859,453	672,208
法定福利費	629,858	439,933	189,925
会議費	2,376	2,415	△ 39
旅費交通費	593,077	1,712,640	△ 1,119,563
通信運搬費	93,967	66,085	27,882
消耗品費	91,665	200,509	△ 108,844
水道光熱費	28,178	22,658	5,520
諸会費	2,646	2,572	74
支払手数料	285,324	327,227	△ 41,903
賃借料	533,624	412,075	121,549
租税公課	1,400	30,960	△ 29,560
委託費	1,544,000	0	1,544,000
雑費	38,949	43,939	△ 4,990
経常費用計	30,836,798	26,245,113	4,591,685
当期経常増減額	2,974,929	18,246,107	△ 15,271,178
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,974,929	18,246,107	△ 15,271,178
一般正味財産期首残高	28,740,187	10,494,080	18,246,107
一般正味財産期末残高	31,715,116	28,740,187	2,974,929
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	34,715,116	31,740,187	2,974,929

財 産 目 録

2015年 3月31日現在

(2014年度 第4期)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	168,077
預金	普通預金	運転資金として	
	山陰合同銀行松江駅前支店		34,045,231
未収金		事業収益の未収分	1,050,021
前払費用		翌期駐車場料金の前払分	9,300
流動資産合計			35,272,629
(固定資産)			
基本財産 定期預金	定期預金		
	山陰合同銀行松江駅前支店	運用益を事業の財源として	3,000,000
固定資産合計			3,000,000
資産合計			38,272,629
(流動負債)			
未払金		助成金の未払分	1,496,721
		委託費の未払分	1,086,264
		その他事業費及び管理費の未払分	256,865
未払消費税等 預り金		未払消費税等	667,800
		源泉所得税、住民税の預り分	49,863
流動負債合計			3,557,513
(固定負債)			0
固定負債合計			0
負債合計			3,557,513
正味財産			34,715,116

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	3,000,000	0	0	3,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
小計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
	0	(0)	(0)	(0)
小計	0	(0)	(0)	(0)
合計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記2.「基本財産及び特定資産の増減及びその残高」に記載しているため、その記載を省略している。

監査報告書

一般財団法人 Ruby アソシエーション
理事長 松本 行弘 殿

平成 27 年 6 月 1 日
一般財団法人 Ruby アソシエーション
監事 今岡 正一



私は、平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

1) 事業報告等の監査結果

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

